

岡山大学ティーチング・アワード表彰の実施・選考についての申合せ

平成27年 3月17日
教育開発センター運営委員会承認

改正 平成29年 5月24日
平成30年 5月29日
令和 2年 4月28日
令和 3年 1月26日
全学教育推進委員会承認

1. 推薦について

- (1) 「岡山大学ティーチング・アワード表彰に関する内規」(以下「内規」という。)第4条に規定する推薦は、実施対象年度を通じて候補科目を募集する。高等教育開発推進センターは随時募集の広報を行い、推薦を促すものとする。
- (2) 推薦は、原則として各部局等のFD委員会、教務委員会等の会議の審議を経るものとする。ただし、自薦及び学生からの推薦については、審議は不要とする。なお、学生から推薦された科目については、ティーチング・アワード表彰選考委員会委員長が推薦理由等確認し、推薦理由が内規第2条に規定する目的に即していない科目については、候補科目から除くものとする。
- (3) 推薦は、授業評価アンケートにおける全体の満足度の評価が4.0以上の科目に対してのみ行うことができる。
- (4) 推薦は、表彰年度(実施対象年度の次年度)に担当教員の在籍が見込まれる科目に対してのみ行うことができる。
- (5) 推薦人数は、制限しない。
- (6) 推薦にあたっては、当該授業が、ティーチング・アワード表彰にふさわしいものであることを説明する推薦書を添付する。
- (7) 推薦された教員が、内規第11条で定めた教育改善の措置の方法を実施できることが望ましい。

2. 選考方法について

- (1) 内規第6条に規定する選考資料のうち、その他参考となる資料は、対象科目授業担当教員又は所属学部、研究科が任意で提出する書類とする。

(その他参考となる資料の例)

- ・ 授業で使用した資料(スライド、レジュメ等)
- ・ 授業評価アンケート自由記述内容
- ・ 授業改善の事例 等

(2) 選考は、次を主な基準とし、別紙により評価を行うものとする。

(評価項目)

- ・ 学修者の既有知識との関連付けが深く行われており、学修者が学修の意義を発見できる工夫をすることで、学修者の深い学びを促していること。
- ・ 有意義で革新的なカリキュラムコンテンツ、授業内容や教材を作成していること。
- ・ 有意義で革新的な教育方法・指導方法を活用していること。
- ・ 学修者の学びを査定する有意義な教育アセスメントを活用していること。
- ・ 学修者と教員が協力した学びのコミュニティの共創を実践していること。
- ・ 学修者の成長への関心を学修者に伝達・発信していること。

(加点項目)

上記評価項目のほか、授業改善の度合い、ICTの活用、SDGs推進への貢献、学修者への情報の明示・わかりやすさ等も基準とする。そのほか、特記すべき事項(外国語での授業実施、地域連携・貢献、授業時間外での学修者に対する個別指導、T A・S Aの活用等)がある場合は考慮する。

(3) 選考委員会委員長が必要と判断した場合には、予備審査を行うことができる。予備審査を行う委員は、「岡山大学ティーチング・アワード表彰選考委員会設置要項」(以下「設置要項」という。)第4条に規定する委員長及び設置要項第3条に規定する委員のうち委員長が指名する者とする。

3. 表彰科目数について

ティーチング・アワード表彰を受賞する科目数は、3～5とする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成29年5月24日から施行する。

附 則

この申合せは、平成30年5月29日から施行する。

附 則

この申合せは、令和2年4月28日から施行する。

附 則

この申合せは、令和3年4月1日から施行する。